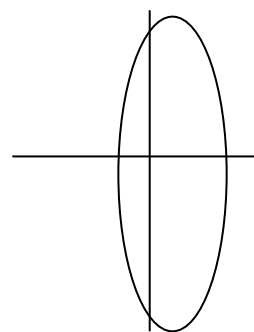


モデルプラン（中学校 - 第3学年での実践）

学級の課題	・学級アセスメントの結果、「自分づくり」の幅が広いことがわかった。生徒たちは、一斉授業での発言は少なく、自信がない生徒が多くみられる。
長期目標	・自己効力感・自尊感情を身につけさせる。
短期目標	・成功体験を経験させ、自己肯定感を高めさせる。

学級集団アセスメントの結果のプロットを入れる



第1回目の分布：縦型

◇ プログラム実践例

	プログラム名	ねらい	備考
1	自己紹介クイズ	お互いの理解を深める。(他者理解)	6月
2	いろいろビンゴ	自分が考えていることと、みんなが考えそうなことを照らし合わせて、お互いの理解を深める。(他者理解)	6月
3	チョークリレー	チームとなって、連帯感や達成感を味わう。(他者理解)	8月
4	すごろくトーク	自分の考えや経験を話したり、聴き合ったりすることで、相互理解を深める。(他者理解)	10月
5	月世界からの脱出	グループ内で話し合っ、全員で納得できる結論を導き出す。(他者理解)	10月
6	ヒント、ピンっと	相手が理解しやすいように言葉を考え説明し、お互いを認め合う。(他者理解)	11月

クラスの変容

今年は臨時休業が長く、行事もなくなり、人間関係づくりが難しかった。新学期が始まり、お互い遠慮しながら活動する場面が多くあった。しかし、SSTPや体育祭の行事を通し、関係性を築くことができてきた。受験へ向けて、進路について話し合ったり、学習を一緒に行ったりする姿が見られた。

◇ 新規プログラム例 「 ヒント、ピンっと！ 」

〈新規プログラムのポイント〉

- ・お題カードに身近なものを入れる
- ・お互い褒める
- ・イングリッシュチャレンジ

学級活動指導案

評価規準〔学級活動（２）の内容のまとまりごとの評価規準〕

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。 適切な意思決定を行い実践し続けていくために必要な知識や行動の仕方を身につけている。	自己の生活や学習への適応及び自己の成長に関する課題を見いだしている。 多様な意見をもとに自ら意思決定して実践している。	他者への尊重と思いやりを深めてよりよい人間関係を形成しようとしている。 他者と協働して自己の生活上の課題解決に向けて、見通しをもったり振り返ったりしながら、悩みや葛藤を乗り越え取り組もうとしている。 自他の健康で安全な生活を構築しようとしている。

目指す生徒の姿 学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。【態度】

準備するもの ・お題カード ・振り返りシートを１人１枚

活動内容	指導上の留意点 ◇目指す生徒の姿	資料
①山手線ゲームをする。 5分	・全員で答えが繋がるように、簡単なお題を出す。	

振り返りシート

振り返りシート

番 名前 ()

●今日の活動をふりかえり、あてはまる番号に○をつけましょう。

(できなかった…1 あまりできなかった…2 できた…3 よくできた…4)

(1) 相手にわかりやすく伝えることができた。

(1 ・ 2 ・ 3 ・ 4)

(2) 相手が伝えようとしていることを理解することができた。

(1 ・ 2 ・ 3 ・ 4)

(3) 自分も相手も大切にすることができた。

(1 ・ 2 ・ 3 ・ 4)

●説明が一番上手だった人は??

●NO.1 なりきり英語上手は??

●ひらめき NO.1 は??

●今日の授業の感想を！具体的にね
